

事業評価シート【新規事業-1】

事業名	重度障害者家庭支援事業			基本計画	章	健康福祉
事業コード					節	障害者福祉
課係名	障害福祉課	内線			項	障害者福祉の充実
担当者氏名		職名			細項目	地域支援生活の充実

事業概要	紙おむつなど、ごみの減量努力が及ばないごみの対応策。障害者総合支援法の日常生活用具給付事業において、ストマ装具、紙おむつを支給している者及び、特別障害者手当・障害児福祉手当・経過的福祉手当受給者の障害者に対し、指定可燃ごみ袋を無料配布する。
現在の課題や市民要望など	課題:障害者等が使用する紙おむつ等の処理に必要な指定ごみ袋については、減量努力が及ばないことから、購入費用が経済的負担となっている。 要望:指定ごみ袋の値下げへの対応手法として要望あり。

事業目的	① 障害者が常時使用している紙おむつ等のごみ処理に対する経済負担の軽減を図る。 ② ③ ④
	個別取組 ① 指定ごみ袋(40L)の配付 ② ③ ④

事業による改善・変更点	① 障害者の経済的負担が軽減される ② ③ ④
-------------	----------------------------------

事業対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人・世帯 <input type="checkbox"/> 団体(民間) <input type="checkbox"/> 団体(公共) <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他 ()
内容	① 日常生活用具給付事業のストマ、紙おむつ支給者 ② 特別障害者手当・障害児福祉手当・経過的福祉手当受給者 ③ ④

業務形態	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 負担金・交付金 <input type="checkbox"/> その他 ()
内容	① 可燃ごみ袋(大)の給付 (1枚65円) ② ③ ④

支出根拠	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 法令要綱等名称 ① ② ③ ④
------	--

事業継続	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度:無期 <input type="checkbox"/> 複数年度:有期[始期 ~ 終期]	後年度負担	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
------	---	-------	--

事業費の積算	28年度	65円×60枚×400人=1,560,000円 ①日常生活用具給付事業 ※(ストマ172人・紙おむつ35人) ②福祉手当受給者193人 ※常時特別の介護を要する障害者が対象(紙おむつ使用)	事業費	1,560	事務スケジュール 年月 内容
			国		
	市				
	その他				
	一般財源	1,560			
	29年度	65円×60枚×410人=1,599,000円 ①日常生活用具給付事業 ※(ストマ176人・紙おむつ36人) ②福祉手当受給者198人	事業費	1,599	
			国		
	市				
	その他				
	一般財源	1,599			
	30年度	65円×60枚×420人=1,638,000円 ①日常生活用具給付事業 ※(ストマ180・紙おむつ37人) ②福祉手当受給者203人	事業費	1,638	
			国		
市					
その他					
一般財源	1,638				

経費節減効果	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	節減効果の内容
金額	千円	

主要指標	指標の種類		計算方法	目標(推計)値			
	名称			28年度	29年度	30年度	
	活動指標	① 紙おむつ等給付者		紙おむつ等給付者	400人	410人	420人
		②					
	成果指標	① 指定ごみ袋配布者		指定ごみ袋配布者	400人	410人	420人
②							

事業評価シート【新規事業-2】

項目別評価	1. 実施主体・目的の妥当性		<ul style="list-style-type: none"> ・自治体が関与すべき事業か。民間で実施できないか。 ・総合計画における目的に合致するか。課題解決に結びつくのか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	<ul style="list-style-type: none"> A. 妥当である B. 改善する余地がある C. 妥当ではない 	指定ごみ袋の値段が高く、紙おむつ等を常時使用する者にはごみの減量化が困難であることから、経済的負担の軽減を図ることは妥当である。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> ・意図した成果は確実に得られるか。 ・類似の目的を持つ事業はないか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	<ul style="list-style-type: none"> A. 有効である B. 改善の余地がある C. 有効ではない 	努力しても減量できない、障害者の可燃ごみ処理費の経済的負担が確実に軽減される。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・成果を維持したまま費用を削減する余地はあるのか。 ・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	<ul style="list-style-type: none"> A. 効率的である B. 改善の余地がある C. 効率的ではない 	事業対象者は、医学的または法的に認知された者であり、紙おむつ等の使用が必須となっている。また、所得制限により公平性は担保されている。
	4. 緊急性		<ul style="list-style-type: none"> ・今実施しなければならない理由。 ・実施しない場合の問題点。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	<ul style="list-style-type: none"> A. すぐに実施する必要有 B. 2~3年後に実施する必要有 C. すぐに実施する必要はない 	紙おむつ等処理には必要であり、早期に配付することにより負担軽減効果が発揮される。
5. 市民要望・公平性		<ul style="list-style-type: none"> ・どういう市民要望があるのか。 ・受益者負担は適正か。 ・公平性の点から受益の偏り(特定の地域や個人等)はないか。 	
評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)	
B	<ul style="list-style-type: none"> A. 多くの市民要望有 B. 一部地域・団体等の要望有 C. 要望はない 	ごみ袋の値下げについては、従前から要望がある。ごみ処理経費の受益者負担は公平にすべきと考えるが、自助努力が困難な障害者等に対する社会的配慮は必要である。	
6. 同規模他市・周辺市町村の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの自治体で実施、同規模以上の自治体は実施、ほとんど実施していないが先進的な取り組みであるなど、具体的に記述 	
県内37市の内、3市(千葉市、野田市、君津市)が実施。※君津市は障害者への配布なし。 長生郡内では、平成28年度から、一宮町、白子町が実施予定(H27年10月23日現在)であるが、ごみ袋配付対象者は検討中とのことである。			

総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性		
	評価		◎評価理由:基本計画における障害者福祉の充実に位置付けられることから実施は妥当である。しかし、財源について、各所管による既存事業費の削減額や、他の新規事業との優先順位を勘案する必要があるが、現在のところ充当一般財源が見込めず、実現性は低い。
	C	<ul style="list-style-type: none"> A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない 	
	■政策調整会議による評価		
	評価		◎評価理由:福祉を充実させる事業であるが、対象者は既におむつの支給を受けており、一定の経済的負担の軽減が図られていることから、ゴミ袋の無償配布についての実施は見送るものとする。
	C	<ul style="list-style-type: none"> A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない 	
■庁議による方針			
評価		具体的な方向性 ごみ処理経費の受益者負担のあり方が各市町村で異なっていることから、現時点での実施は見送り、状況を注視することとする。	
C	<ul style="list-style-type: none"> A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない 		